

2009.9.24(木)

徳島新聞



— 末期がん患者の緩和ケア —

セミナーや野外演奏会

— 27日から徳島市内 イベント多彩に —

末期がん患者らの苦痛を和らげる緩和ケアによって患者が安らかに過ごせるように援助する、専門病棟を備えたホスピス。「ホスピス緩和ケア週間」（10月4～10日）を控え、県内各地で、がんセミナーや野外コンサートなど多彩なイベントが行われる。

9月27日午前10時から、徳島市内のホテルクレメント徳島で「第4回徳島がん市民セミナー」が開かれる。「がんになって、思うこと、生きること」（講師・堀泰祐滋賀県立成人病センター緩和ケア科主任部長）、「ホスピスで学ぶ生き方」（講師・沼野尚美六甲病院緩和ケア病棟チャプレン・カウンセラー）と題した講演

がある。

10月3日午後1時半からは、緩和ケア病棟を運営する近藤内科病院（徳島市西新浜町）で、ホスピス緩和ケア週間の前夜祭として野外コンサートが開かれる。津田祭り太鼓やクラシック音楽の演奏などがある。

また、週間に合わせて、徳島県庁、徳島市ふれあい健康館、徳島大学病院、徳島赤十字病院、県立中央病院、近藤内科病院で、ホスピス緩和ケアに関するパネル展が開かれる。

いずれも参加無料。NPO法人ホスピス徳島がん基金など主催。問い合わせは同基金事務局〈電088（663）0070〉。